



医療法人社団 遼山会

関町病院

医療法人社団遼山会

関町病院

薬剤科

安里

医療法人社団遼山会 関町病院

病床数：49床(療養病棟)

1階・・・外来診察室、リハビリ室、検査室など

2階・・・療養病棟(内科・整形外科)

3階・・・主に整形外科の手術目的

入院患者

- ・整形外科の手術、リハビリ、加療目的
- ・一般病棟からリハビリ目的転院

医療法人社団遼山会 関町病院

高齢者の脆弱性骨折予防のため骨粗鬆症治療に注力

導入の際は薬剤科から自己注射の手技説明も行う

【取り扱い薬剤例】

自己注射：フォルテオ、テリパラチド、オスタバロ、テリボン(週2回)

通院：プラリア、イベニティ、ボンビバ、テリボン(週1回)

その他関節リウマチの自己注射についても案内している

薬局からの情報の扱いについて

《疑義照会》

基本的に外来看護師が担当医へ確認

訪問診療に限り

残薬多数による日数変更・薬剤削除の入力を
薬剤科にて代行入力し、担当医へ報告

入院時に行っていること

①手術予定入院

薬剤科で薬剤確認を行っている

- ・ 周術期に休薬が必要な薬剤と休薬期間
- ・ 薬剤アレルギー

ex.)セフェム系、ペニシリン系でアレルギー
SSI予防抗菌薬のCEZ ⇒ CLDM へ変更

- ・ 喘息の既往、吸入薬の有無

入院時に行っていること

② 予定入院(リハビリ、療養目的)

→ 医療連携室から採用薬で代替できるか事前相談

当院採用薬で代替できないような薬剤（エンレスト、フォシーガなど心不全治療薬）は内科医と代替薬・臨時採用について相談する

③ 緊急入院(手術、療養)

持参薬、お薬手帳、本人・家族への聞き取り

⇒ 自宅・施設での服薬状況の把握

自己調節の程度、内服していない薬剤の把握

上記が不十分の場合は処方元、調剤薬局へ確認

入院時に行っていること

持参薬の内服が途切れないよう当院処方へ切り替え
⇒代替は薬剤科から処方提案

週1回薬剤管理指導を実施

退院時に行っていること

退院処方方の代行入力

退院時服薬指導書を作成し、お薬手帳に貼付

- ・ 入院中の薬剤管理方法
- ・ 薬歴(手術で使用した抗生剤、鎮痛剤の経過など)
- ・ 持参薬の継続・切り替えについて
- ・ 新規開始薬、中止薬
- ・ 直近の血糖測定値や検査値

まとめ

骨粗鬆症治療薬(抗リウマチ薬)の自己注射の説明

内科系の処方薬が次回かかりつけ医受診まで
不足しないよう確認している

薬剤管理指導、退院時薬剤指導
100%介入を目標に実施